

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記 述	運営推進会議で話しあった内容	外 部 評 価	記 述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	全体会議時に理念の唱和を行い、意味を理解し深めるようにしている。業務中に理念に沿わない言動があった場合は、職員同士で話し合い、修正出来ている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	昨年度まではコロナウイルス流行の為、地域へ出向く事が出来ていなかったが、今年度から外出する行事を増やす方針にしている。	そもそも地域も行事がコロナや災害のために中止になっている。今年は特に水害で地域の行事がなくなった。この辺りでは秋祭りも予定していた。以前は銀杏の木からもそうめん流し等に参加してもらっていたが、コロナで中止となった。来年度はぜひ参加してください。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営状況の説明、事故報告・身体拘束についての勉強会を行っている。意見交換を行いサービス向上の為意見を活かしていくよう取り組んでいる。	当会議では施設側から詳しく状況を教えていただけている。事故報告も減ってきたこともあり、的確に運営できているように思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	役場とは相談に乗ってもらったり空き状況の報告を行っている。	銀杏の木は町からの依頼には積極的に協力していく方針である。町としては、今後もケアマネとの情報交換をしっかりとっていただければ良いと思います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束については運営推進会議の委員にも参加してもらい2か月毎の研修を行っている。職員全員で身体拘束の理解、認識を深めていけるよう職場内研修を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	このままで十分だと思います。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的に職場内研修を行い、虐待防止について理解、認識をして防止の徹底に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	来訪するときに騒々しい声を聞こえてこない。上手にコントロール出来ているのではないかとと思われる。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職場内研修にて権利擁護に関する制度の理解を学ぶ機会を設けている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の締結、解約また改定等の際は個々の立場に立ち、不安や疑問に対し十分な説明を行い理解・納得を得るように努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	本年度もコロナウイルスの影響により家族懇談会が実施出来ないため、運営推進会議での意見を反映させ、サービスの質の確保・向上に繋げていけるよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスで制限があったため、評価が難しい。家族としては、その代わり何かあればすぐ連絡していただいているので安心しています。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の運営会議、全体会議にて職員の意見や提案を聞く機会を設けており、それ以外でも自由に発言出来るよう努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の日々の努力・実績・勤務状況を把握し、向上心を持って働けるよう配慮・対応に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度より労働環境や手当等の見直しに取り組みましたということで十分に出来ていると思います。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	全ての職員が質を向上させていけるよう各自の立場・経験等に応じた学びの機会を確保するため、事業所内外の研修への参加に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	資格取得に関する研修の補助等や、スキルアップのための方策を十分にとっていると思われます。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同業者との交流に関しては、コロナウイルスの影響で出来ないことが多いが、入退所時は相談を含め連携を取り合うよう努めている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	孤独に陥りがちな利用者に安心感を与え、本人の個性や力を発揮してもらい、共に支えあう関係作りを築くようにしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会に関しては時間を制限し、決まった場所で出来るようになってきている。外出・外泊は現在では出来ていない。	コロナが5類に移行し、現在は外出も行っている状態。これまで通り馴染みの方にも会える環境を作ってもらえれば良いと思います。		
<b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己決定を尊重し、日常生活の事を決める際は、その都度本人の意見を聞き、日頃の会話で思いや意向を汲み取るようにしている。把握が困難な場合は本人の表情や家族からの話、生活歴を基にケアを考えている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人と家族から情報や意向を聞き、心身の状態や生活の様子等を基に職員間で意見交換・検討をし、その方のプランの作成が出来るよう努めている。また状態に変化があれば見直し、現状に即したものにしている。	十分に出来ている。	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会が出来ない間も、毎月暮らしの様子を送ってもらっているので、日頃の本人の様子が分かる。介護計画の作成にあたり、家族とスムーズに連携が取れるよう、今後もこれを継続してほしい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活の様子や支援計画を記録として残し、多職種間でいつでも情報が共有できるようになっており、プラン作成時に役立てている。また本人の言葉を記録に残す事で本人のやりたい事等、些細な気づきを大切にしている。		A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ちょっとした変化にも十分対応してもらっている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別ケアを行うにあたり、一人ひとりに合ったサービスの提供を心がけ、本人の家族の状況に対応し、職員間でも話し合い多機能に取り組んでいる。また柔軟性をもって個々の希望に沿ったサービスの提供に努めている。	介護サービス以外のご家族の突発的な対応にも十分対応できている。		



20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源を活用しながら利用者の豊かな暮らしを支援するまでには至らず、施設内の実現に留まっている。	コロナのため、地域の行事等には参加できなかった。来年度からは少しずつ参加できるようになればと考えている。足腰の十分な方であれば外に出れるが、この状況では施設に来てもらうボランティア等の活用が主となってくるでしょう。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前からのかかりつけがある場合は、入居後も継続して通院出来るようにしている。本人及び家族の希望を大切に、かかりつけ医・訪問診療医との関係性を築き、より良い医療支援に努めている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が入院した際、本人に必要な情報を医療機関に提供している。入院先との情報交換や家族との連携を密にし、施設で可能な限り対応できる環境を整え、早期退院が出来るようにしている。また、グループホームで対応が困難な場合は他施設の紹介をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分に出来ている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合や終末期のあり方について、家族の意向を尊重し、かかりつけ医と連携し対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分に出来ている。かかりつけ医の判断を早くもらえている。家族と相談し、本人の希望に出来るだけ沿ったケアを念頭に置いている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回、防災訓練とAEDの取り扱いと心肺蘇生の救急講習を受けている。また、慌てずに対応が出来るよう、緊急対応マニュアルを設置している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災や自然災害に対応するマニュアルを整備し、年2回消防署の指導の下昼夜を想定した避難訓練を実施している。	消防署との通報時応答マニュアルを掲示しているのはとても良い。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防署も参加しての訓練はこれからも継続していきたい。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人に合わせた言葉かけや対応を行っている。しかし時に対応を間違え気分を害させてしまうこともあり、日々実践と反省を繰り返している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特になし
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同じ時間帯でも日記を書いたり、新聞を読んだり、テレビを観たりと個々に合った過ごし方ができるように対応している。入浴日や入浴時間は職員の都合になってしまうこともある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	テーブル拭きやお盆拭きなど個々の手伝いをお願いしている。食事は職員の手作りで提供し、季節の行事に合わせたメニューを取り入れている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者がほぼ残すことはないのであれば、不服に思うこともないのでしょう。おいしいと言いながら食べているのなら、十分に出来ていると思います。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食の食事量、水分量を記録し、一人ひとりが必要な食事や水分を摂取出来るように支援を行っている。日々の体調変化や様子を職員間で情報共有を行い、各利用者に応じた食事形態で適切な量を提供するように努めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、各利用者に対して見守りを行いながら誘導・声かけを行っている。介助が必要な利用者には職員が口腔ケアを行い、口腔状態の確認と清潔保持に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特になし
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者のタイミングを把握し、定期的に声かけ・介助を行っている。オムツ使用の方は清拭を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特になし

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの希望やタイミングに合わせては実施できていない。入浴時は必ずバイタルチェックを行い、利用者の体調や意向を汲み取り支援を行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の状態を観察し、必要な時に休息が出来るよう支援している。夜間は定期的に巡視を行い、各利用者の睡眠状況を記録し、職員間で情報共有することで睡眠の質が向上するよう努めている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の名前・日付を必ず確認し職員間での確認を行っている。服用後の状態の変化や様子について確認・記録することで情報共有を行い、主治医との連携を図ることが出来るよう努めている。		A. ③十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者それぞれ違う状態を把握して服薬されている。大事なことなので今後も継続して欲しい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物たたみや新聞折り等、日々のお手伝いを積極的に行っている。また季節ごとに行事を行い、他利用者や職員と交流しながら一人ひとりが楽しむことが出来るよう支援に取り組んでいる。	利用者の状態に合わせて、日常的なレクリエーションの中に折り紙なども取り入れ、出来ることを増やしていくこともいいのではないのでしょうか。洗濯物たたみなど、元気なころにしていたことも取り入れていくことは良いと思います。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ③ほとんどできていない	コロナウイルスの影響により一時外出が出来なくなったが、感染状況を見ながら対策を十分に行い、少人数でのドライブ等、出来る限り支援している。	利用者の状態でも、自力で歩けない方が増えてきていることもあり、今後もドライブなどで外の空気を少しでも味わってもらえたらと思う。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	自分で現金を持ち自己管理している利用者はいない。基本、紛失等トラブルの原因になりうるため、家族に説明し施設で預かるようにしている。			



38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望があれば直接電話口で話されている。 年賀状を出したり、家族から手紙が届いた場合は本人へ渡し、状況に応じて職員が代読したりしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ベランダでの野菜作りや、職員や利用者の絵や飾り等をリビングに設えたり、行事等で撮影した写真を廊下に掲載するなど、居心地の良い雰囲気や季節感を出す工夫をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必ずしも外に出るのではなく、室内や敷地内でも出来ることを増やしていけばよいのではないかとと思う。
<b>IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意思表示が出来る人、そうでない人がいる中で、出来ない人に関しては表情や身振り等から思い願いを感じ取り、それぞれに寄り添えるようにしている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族より、生活歴や習慣等の情報を基に、本人のライフスタイルを守り、日々の状態の変化を見ながらケア・支援を行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康・医療面については毎日のバイタルチェック、健康チェックを行っている。月2回のかかりつけ医の定期往診を受け、情報提供を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特になし
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意思決定が出来る人は本人のペースで意向に合った生活が出来ている。そうでない人も表情等を汲み取り、少しでも意向に沿った生活が出来るよう支援している。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の馴染みの物、大切にしている物を部屋に置き、以前の生活が継続できるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特になし
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望で催事等に参加することはほとんどなく、コロナの影響もあり、戸外に出掛けることもなかった。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	手伝い等については、本人の役割と意欲的にされている方が数名おられる。出来る事への参加は声かけにて行っており、生活の活性化につながっている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	顔見知りの方や気の合った利用者同士、会話は出来ている。活動では体操を必ず行うようにしており、意欲的に参加されている方も少なくない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特になし
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響で外出、面会も出来ない日が続き、近隣・地域の人々との関わりや交流はほとんど出来ていない。	数年前はいきいきサロンによく来られていましたが、今は感染症対策もあり難しい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者に顔見知りの方がいたり、スタッフ・利用者もあまり多くなく馴染みの関係が築けており、安心した生活が送れている。	特になし	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特になし